

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	女子栄養大学短期大学部
設置者名	学校法人香川栄養学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	食物栄養学科	夜・通信			16	16	7	
(備考) クラス別に開講しており一部のクラスのみ実務経験のある教員が担当している授業科目及び教職科目は除く								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

WEB シラバス https://cpweb.eiyo.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx にて、検索条件設定で講義コード(q)、キーワードに「実務経験」を入力し、絞込みをする
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	女子栄養大学短期大学部
設置者名	学校法人香川栄養学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2017.6.1 ～ 2020.5.31	学校法人のガバナンスに対する学外者としての意見の提示
非常勤	株式会社役員	2018.6.1 ～ 2021.5.31	同上
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	女子栄養大学短期大学部
設置者名	学校法人香川栄養学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年シラバスを作成するための「シラバス執筆について」(シラバス作成要領)を作成し授業担当教員に配付し、「授業の達成目標」「授業の概要」「授業形式」「関連科目」「履修上の注意事項」「事前・事後学習の内容と時間」「成績評価の方法」「教科書・参考書・教材・参考ホームページ」「授業計画」等の作成要領により、授業担当教員へ入力を依頼する。(締め切りは1月上旬) 担当教員が入力後1月下旬までに、シラバスの内容について副学長及び短期大学部長が確認し、修正が必要な内容については修正期間(2月下旬まで)に担当教員に加筆訂正を依頼する。最終確認を3月上旬までに行い3月下旬に大学のHPに公開する。また、WEBシラバスとは別に冊子シラバスを作成している。	
授業計画書の公表方法	インターネット https://cpweb.eiyo.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果については、シラバスに記載された科目ごとの評価方法に則り、成績評価を行い、単位の認定を行っている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

定期試験の評価は、S・A・B・C・D・Eの6段階で評価し、DおよびEを不合格とする。成績の評価基準は100点報によりS:90点以上、A:89～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:60点未満とする。

また、学業成績をはかる基準としてGPA(Grade Point Average:成績評定平均値)を導入している。

	評価	評価の表示	GP 配点
合格	100～90 点	S	4
	89～80 点	A	3
	79～70 点	B	2
	69～60 点	C	1
	追試験で合格	補 1	
	再試験で合格	C(補 2)	1
	単位認定試験及び再履修で合格	C(補 3)	1
不合格	59 点以下	D(補 4)	0
	出席日数不足(履修放棄)	E	0
合格不合格の判定を保留		保(補 5)	
履修取り消し		消(補 6)	－
定期試験欠席		欠(補 7)	－
追再試験欠席または未手続		E(補 7)	－
既修得等認定単位		認(補 8)	－

【GPA の算出方法】

$$GPA = \frac{S \text{ 取得単位数} \times 4 + A \text{ 取得単位数} \times 3 + B \text{ 取得単位数} \times 2 + C \text{ 取得単位数} \times 1 + (D + E) \text{ 取得単位数} \times 0}{S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot D \cdot E \text{ の総単位数}}$$

補 1. 追試験の成績の評価は最高 A とする。ただし、学校感染症(新型インフルエンザを含む)を原因とする場合の評価は、最高 S とする。

補 2. 再試験の成績の評価は合格または不合格のみとし、合格の場合の評価はすべて C とする。

補 3. 単位認定試験および再履修科目の成績の評価は合格または不合格のみとし、合格の場合の評価はすべて C とする。

補 4. レポートの提出によって試験に代える場合、所定の期日までにレポートを提出しなかった場合は不合格「D」とする。

補 5. 追・再試験の成績につき、ただちに合格・不合格の判定をくだし難い者について、判定を保留とし、以後のその者の学習の状況を見て、改めて合格・不合格を決定することがある。その場合、合格した者の評価はすべて C とする。

補 7. 「消」 正当な理由(試験規程第 5 条)により学生から履修取り消し希望が出た場合、初回履修と同じ扱いとする。

補 8. 「認」 既修得認定単位は GPA に反映しない。

補 9. その他の取り決め

- ・実験実習、特論、食物栄養学演習(ゼミ)は上限 A とする。
- ・実験実習の出席日数不足の場合の取扱いについては講義の「E」、「消」に準ずる。
- ・レポート試験等の結果で不合格となり再履修する場合、講義科目の再履修と同様に扱う。
- ・教職課程科目は他の講義科目と同一に扱う。

上記内容については、冊子「履修の手引」に掲載し、ガイダンス時に学生に配付している。「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」として資料「GPA の分布状況」の通りある。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	冊子「履修の手引」に掲載（入手方法：メールで短期大学部 教務学生課宛（ kkyomug@eiyo.ac.jp ）に入手希望の旨の連絡 をいただければ「履修の手引き」を送付） ガイダンス時に学生に資料配布（GPA の分布状況）
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施して いること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマポリシー） 以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に卒業を認定すると共に 短期大学士（食物栄養学）を授与する。 一 自ら正しい食生活を実践できる能力を獲得し、社会における人々の食による健康 を支援できる資質・能力を身につけた者。 二 本学のカリキュラム履修を通して基礎的な学習能力を養うとともに、栄養学の知 識・理論を学びより深く問題を探求する能力を身につけた者。 三 本学カリキュラムの所定の卒業必修科目、栄養士必修科目、専門科目、基礎・教養 科目より合計 62 単位以上の単位を修得した者。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	公表方法：インターネット http://www.eiyo.ac.jp/daigaku/information/policies.h tml

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	女子栄養大学短期大学部
設置者名	学校法人香川栄養学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/zaimu_past.html 及び 備付
収支計算書又は損益計算書	インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/zaimu_past.html 及び 備付
財産目録	インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/zaimu_past.html 及び 備付
事業報告書	インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/ 及び 備付
監事による監査報告(書)	インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/zaimu_past.html 及び 備付

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2019年度学校法人香川栄養学園事業計画 対象年度:2019年度)
公表方法:インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/
中長期計画(名称:学校法人香川栄養学園中期計画 対象年度:2016年度~2020年度)
公表方法:インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/pdf/mtermplan.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:インターネット http://www.eiyo.ac.jp/daigaku/information/jaga.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:インターネット http://www.eiyo.ac.jp/daigaku/information/jaga.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 食物栄養学科
教育研究上の目的 公表方法：インターネット http://www.eiyo.ac.jp/regulations/
(概要) (短期大学部の学科の目的) 第 4 条 女子栄養大学短期大学部の学科の目的は、次の通りとする。 1 食物栄養学科 「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能」、「疾病の成り立ち」、「食べ物と健康」などに関する基礎的な知識を教授研究し、食を通して人々の健康の維持増進と疾病の予防に貢献できる専門家としての栄養士を養成する。併せて栄養教諭の養成を行い、もって食育を担う社会人を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 公表方法：インターネット http://www.eiyo.ac.jp/daigaku/information/policies.html
(概要) 以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に卒業を認定すると共に短期大学士（食物栄養学）を授与する。 1. 自ら正しい食生活を実践できる能力を獲得し、社会における人々の食による健康を支援できる資質・能力を身につけた者。 2. 本学のカリキュラム履修を通じて基礎的な学習能力を養うとともに、栄養学の知識・理論を学びより深く問題を探求する能力を身につけた者。 3. 本学カリキュラムの所定の卒業必修科目、栄養士必修科目、専門科目、基礎・教養科目より合計 62 単位以上の単位を修得した者。
教育課程の編成及び実施に関する方針 公表方法：インターネット http://www.eiyo.ac.jp/daigaku/information/policies.html
(概要) 栄養学の知識・理論の学習を通して自ら正しい食生活を実践すると共に、社会において食を介して人の健康を守ることができる優れた栄養士の養成を図り、食事・栄養改善を通じて健康増進をなすための技術、食事・料理の調整・提供に必要な実的な技術を身につけることを目的としてカリキュラムを編成する。 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識、能力 1. 広範で多様な基礎的知識の獲得のため基礎・教養科目、自由選択科目を設置する。 2. 専門的な方法論と知識を体系的に学ぶため、栄養士必修科目、専門科目および教職必修科目を設置する。 3. 学生が幅広く関心のある科目を履修できることを目的として、専門科目、基礎・教養科目に加え、キャリアアップ科目を設置する。 4. 栄養学を社会に還元し、健康を維持するための基礎技術・能力を育成するため多様な実験・実習科目を設置する。
入学者の受入れに関する方針 公表方法：インターネット http://www.eiyo.ac.jp/daigaku/information/policies.html

(概要)

- 食・健康に好奇心や興味をもち、食事の調整・提供のための知識や技術を身に付け、栄養学の知識を実践するひと。
- 産業や食文化及び健康分野等で「食生活のスペシャリスト」として活躍したい人。
- 学業で得た知識を更に深く学び探究する意欲のある人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：インターネット

<http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/pdf/kyoikukenkyujonokihonsoshiki.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
食物栄養学科	－	9 人	3 人	2 人	1 人	1 人	16 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		60 人					61 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：インターネット https://gyoseki.eiyo.ac.jp/eiyhp/KgApp					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
「女子栄養大学短期大学部 F D 検討委員会規程」に基づき同委員会が中心となり、F D に関わる企画・運営にあたっている。例年、ICT 技術の習得・向上を図るもの、社会人基礎力測定テストの結果分析と教育への反映を図るもの、その他のテーマで研修会を複数回開催している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
食物栄養学科	160 人	134 人	83.8%	320 人	309 人	96.6%	人	人
合計	160 人	134 人	83.8%	320 人	309 人	96.6%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
食物栄養学科	155 人 (100%)	31 人 (20%)	111 人 (71.6%)	13 人 (8.4%)
合計	155 人 (100%)	31 人 (20%)	111 人 (71.6%)	13 人 (8.4%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項）				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
食物栄養学科	172 人 (100%)	155 人 (90.1%)	5 人 (2.9%)	11 人 (6.4%)	1 人 (0.6%)
合計	172 人 (100%)	155 人 (90.1%)	5 人 (2.9%)	11 人 (6.4%)	1 人 (0.6%)
(備考) 入学者数：前年度留年者 4 名を含む その他：除籍者					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) WEB シラバス、履修の手引きに授業担当者が授業の方法、内容及び授業計画について記載している。なお、授業日程については短期大学部のしおりの授業カレンダーに記してある。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に卒業を認定すると共に短期大学士（食物栄養学）を授与する。 一自ら正しい食生活を実践できる能力を獲得し、社会における人々の食による健康を支援できる資質・能力を身につけた者。 二本学のカリキュラム履修を通して基礎的な学習能力を養うとともに、栄養学の知識・理論を学びより深く問題を探求する能力を身につけた者。 三本学カリキュラムの所定の卒業必修科目、栄養士必修科目、専門科目、基礎・教養科目より合計 62 単位以上の単位を修得した者。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	食物栄養学科	62 単位	有・無	45 単位
		単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：インターネット http://www.eiyo.ac.jp/daigaku/campuslife/komagomecampus.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	食物栄養学科	754,000 円	360,000 円	674,800 円	その他：施設費、実験実習 教育研究費、調理学実習 費、給食管理実習給食代

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 入学時にはオリエンテーション、1年生の3月に教務ガイダンスを行い、資格取得のための履修に関する指導を行う。 1年時前期に入学前での成績が芳しくない学生について特論科目（基礎化学、国語）を設定している。また、苦手克服タイムとして時間割に組み込み、授業の問題解決を行うための補講を受講できるような時間を設けている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 1年生6月より10月頃まで就職ガイダンス、就職環境と就職活動の基礎理解講座、インターンシップ、卒業生講師による講座など、進学も含めて進路選択の指針を得る機会を設けている。その後、筆記試験、面接試験など就職選考試験対策講座を開講している。2年次には学内企業セミナーなど企業との接触機会を積極的に設けている。なお、個別対応を基本とし、個々の進路希望に沿う求人情報提供、相談対応を行っている。また、学園内の大学進学希望者に対して毎年6月に編入ガイダンスを行い、大学の学科長からの話及び編入生との個別相談を設け実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健センターに看護師が常駐し健康を支援している。週3日、臨床心理士によるカウンセリングを行っている。 また、障がい（主に精神的な問題を抱え、特別な支援を必要とする者）を持つ学生に対し、きめ細かな支援を行うことを目的に「障がい学生に対する支援委員会」を設置し、障がい学生の状態・要望を考慮し、学生生活が円滑にできるように支援している。学生情報は委員会で共有し、得られた情報をもとに必要な対応を行い、学生の利益となるよう努める。委員会の開催は委員長の招集により開催する。開催に当たり委員長が必要とした場合、臨床心理士、カウンセラー等の出席を求め対応する。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：公表方法：インターネット http://www.eiyo.ac.jp/kouhyou/
